

指標と目標 算出根拠（社会教育分野）

基本目標 1	地域づくりを推進し、学び挑戦できる人づくりをめざします
--------	-----------------------------

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 社会教育士資格取得人数（人） ※目標値及び実績値は累計値	目標	基準	10	11	12	14	15
	実績	8					
(2) 地域社会教育推進事業における <u>社会教育推進協議会と小中学校や子ども会などの青少年育成団体、NPO、大学、企業等との連携回数（回）</u>	目標	基準	27	32	37	42	48
	実績	22					

2 指標の設定理由

(1) 基本施策(1)において、人づくりや地域づくりのため、社会教育を推進する人材の養成が必須であり、引き続き社会教育主事講習を毎年職員1人が受講し、市民へも広く周知し受講を呼びかけていきたい。

(2) 基本施策(2)において、地域づくりにむけた社会教育活動の推進のため、24地区で行われる社会教育推進事業を支援して、今回新たに「小中学校や子ども会などの青少年育成団体」との連携も明記し、他団体との連携回数を増やすことを目標とする。

目標達成のためには、年度末に実施する社会教育推進員へのアンケート調査で、連携の達成度を確認するとともに、事例の紹介や各地区の交流、研修を行うことで、全体のレベルアップを図る。

3 目標値の算出根拠

(1) 資格取得人数は、各年度に1人ずつ受講するものとして算出した。岐阜大学での講習開催時（R10）には、市民1人の受講を見込む。

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5
人数	5	6	7	8

- (2) 全 24 地区の事業において、1 地区 2 回以上の連携を図るものとして令和 11 年度の連携回数を算出した（全 24 地区×2 回）。

[過去の実績] 連携回数（実施事業数）

年度	R2	R3	R4	R5
回数	1 (18)	8 (29)	18 (51)	22 (63)

基本目標 2	よさを認め尊重し合う活動を推進し、思いやりのある心豊かな人づくりをめざします
---------------	---

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 家庭教育支援「おしゃべりサロン」への参加者数（人）	目標	基準	78	80	82	84	87
	実績	74					
(2) 「子ども会リーダースクール」の満足度（%）	目標	基準	95	95	95	95	95
	実績	85					

2 指標の設定理由

- (1) 基本施策(2)において、悩みを抱える家庭への支援活動を推進するため、「おしゃべりサロン」を充実させ、より多くの保護者に利用してもらえるようPRを強化して取り組んでいきたい。
- (2) 基本施策(4)において、青少年の主体的な参画を促進するため、子ども会リーダースクールで実施するアンケートで、参加者の満足度を上げるため取り組んでいきたい。

3 目標値の算出根拠

- (1) 家庭教育支援「おしゃべりサロン」において、R5の1日平均の参加者数が平日・土曜2人、夏休み6人のところ、R11には、それぞれ1人ずつ増の参加を目指す。

$$3人 \times 15日 [平日・土曜] + 7人 \times 6日 [夏休み] = 87人$$

【開催日数】平日7日、土曜8日、夏休み6日

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5
人数	0	—	73	74

(2) R5の満足度「77%」に比べ、R2～R5の平均値「85%」の方が高いため、基準は、85%とする。

子ども会リーダースクールの参加者に対して実施するアンケートで、4段階の満足度のうち、「とても楽しかった」と回答した割合を算出し、R3～R5の最高値である91%（R4）を目標とし、端数を切り上げ、毎年95%以上の満足度を目指す。

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5	平均値
割合（%）	未実施	88	91	77	85

基本目標 3	地域との絆づくりを大切にする活動を充実し、郷土に誇りをもって生きる人づくりをめざします
---------------	--

1 指標と目標

指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 「学校支援ボランティア」の登録者延べ人数 (人)	目標	基準	1,325	1,345	1,365	1,385	1,405
	実績	1,305					
(2) 青少年健全育成研修会（ブロック研修会）の参加者数 (人)	目標	基準	2,244	2,288	2,332	2,376	2,420
	実績	2,200					

2 指標の設定理由

- (1) 基本施策(2)において、地域学校協働活動の推進のためには、学校支援ボランティアの定着が必須であるため、引き続き登録者数を増やすことを目指していきたい。
- (2) 基本施策(3)において、地域における青少年健全育成を推進するため、青少年健全育成研修会（ブロック研修会）への支援を引き続き行い、参加者数を増やしていきたい。

目標達成のために、青少年育成推進員や社会教育推進員が参加する「明るい青少年都市市民会議合同研修会」において、アンケート調査を引き続き実施し、満足度もあわせて確認しながら充実を図る。

3 目標値の算出根拠

- (1) 学校支援ボランティアの新規登録者数を、年間1人/小学校区、上石津学園前期課程を入れて市内小学校は19校あるため、年間約20人ずつ増やし、5年間で100人の増加と見込んで算出した。

R5の基準値1,305人に対して、R11の目標は1,405人

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5
人数	1,185	1,195	1,238	1,305

(2) 各支部（全 22 支部）で開催されるブロック研修会（年 1 回）の参加者数を、5 年間で 10%増加させるものとして目標値を算出した。

R5 は、22 支部中 15 支部の開催で、1,692 人であったため、1 支部当たりの参加者は 112 人であるが、支部ごとの規模の違いを考慮して 100 人/支部と見なし、R5 の基準値は、100 人×22 支部=2,200 人とした。

R11 の目標は $2,200 \text{ 人} \times 1.1 = 2,420 \text{ 人}$

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5
人数	175	226	318	1,692

基本目標 4	興味・関心に応じて学び合える環境を整備し、いきいきと活動できる人づくりをめざします
---------------	--

1 指標と目標

指標	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11
(1) 「スイトピア子どもクラブ」の満足度 (%)	目標	基準	80	80	80	80	80
	実績	(未)					
指標	年度	R5	R7	R8	R9	R10	R11
(2) 地域社会教育推進事業の実施回数 (回)	目標	基準	69	75	82	89	96
	実績	63					

2 指標の設定理由

- (1) 基本施策(1)において、スイトピア子どもクラブなどの講座を、子どもの意見を聞きながら充実させるため、受講者に対するアンケートを新たに実施することで、満足度を確認したい。
- (2) 基本施策(2)において、生涯学習機会の充実のため、社会教育推進事業を支援しており、全 24 地区で年間 4 事業の実施を目標としたい。

3 目標値の算出根拠

- (1) スイトピア子どもクラブの受講者に対して実施するアンケートで、4 段階の満足度のうち、「大いに満足」と回答した割合を算出し、毎年 80%以上の満足度を目指す。
→基準値は、R6 年度中間期（9 月）に実施して算出
- (2) R11 に全 24 地区で 4 事業実施されることを目指し、令和 11 年度の回数を算出した（全 24 地区×4 事業）。

[過去の実績]

年度	R2	R3	R4	R5
回数	18	29	51	63